

# 北海道肉牛研究会 ニュース

No.15 2010.9.28

北海道肉牛研究会事務局  
北海道立総合研究機構畜産試験場  
肉牛グループ・技術支援グループ  
〒081-0038  
北海道上川郡新得町字新得西5線39番地  
Tel:0156-64-5321 FAX:0156-64-3212

## 平成22年度研究大会のお知らせ

本年度は、NPO法人環境リサイクル肉牛協議会との共催で「資源循環型牛肉生産シンポジウム2010」として、11月10日～11日の日程で帯広にて開催します。詳しくは同封の開催案内要領をご覧ください。現地検討会は人数に制限がありますのであらかじめご了承ください。

## 黒毛和種雌肥育牛への飼料給与技術の紹介

北海道立総合研究機構畜産試験場で平成17～21年に行われた雌牛の肥育試験の成果について紹介します。雌牛は去勢牛と比べて枝肉重量が小さく、皮下脂肪が厚くなることから雌牛に適した肥育が必要となりますので、未経産雌牛と経産牛について解説します。

### ①未経産雌牛への濃厚飼料給与法

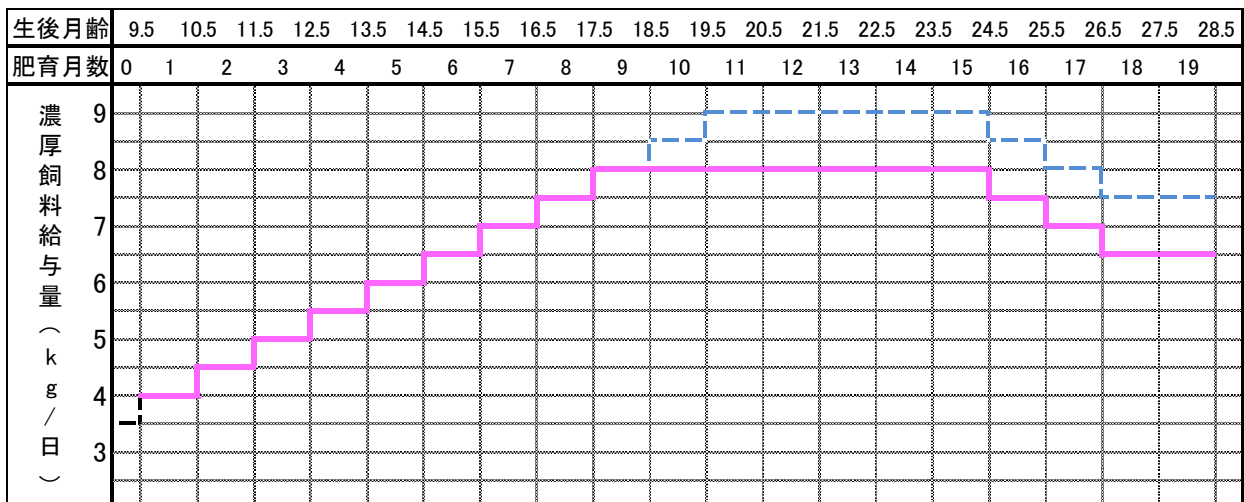
濃厚飼料中の穀類割合を40%または60%とし、濃厚飼料の増給を0.5kg/月または1.0kg/月と設定して枝肉成績を比較しました。28.5か月齢でと畜した結果、穀物割合60%の濃厚飼料を0.5kg/月で増給した牛で、枝肉重量、ロース芯面積、BMS No.

が最も優れていたことから、この給与法が未経産雌牛で適した肥育方法であると考えられました(表1)。図1に未

表1. 未経産雌肥育牛の枝肉成績(28.5か月齢でと畜)

試験処理		枝肉重量	ロース芯	皮下脂肪厚	BMS
穀類割合	増給量	(kg)	(cm <sup>2</sup> )	(cm)	(No.)
40%	0.5kg	396	53	2.6	5.0
	1.0kg	422	59	2.9	6.0
60%	0.5kg	453	60	2.8	7.3
	1.0kg	380	54	2.3	4.0

経産牛雌牛の濃厚飼料給与の目安を示しましたので、参考にさせていただければと思います。この給与法では、去勢牛と雌牛で異なる濃厚飼料を使う必要がないので、別房で飼養して濃厚飼料の増給ペースを変える比較的取り組みやすい技術となっています。

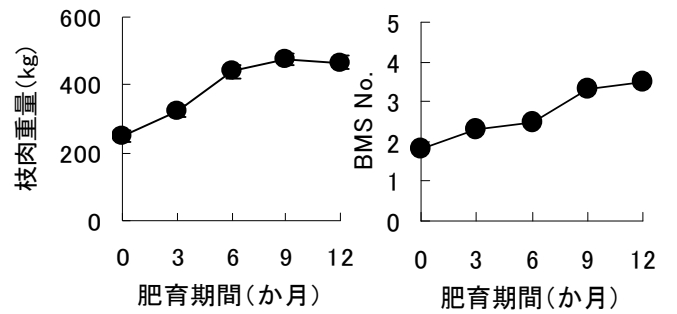


注) 18か月齢以降は、破線の範囲を目安に残食がわずかに残る程度の給与量とする。

図1. 黒毛和種経産雌肥育牛の飼料給与のめやす

## ②経産牛の最適な肥育期間

肥育期間を0、3、6、9、12か月で比較すると、枝肉重量は6か月以上肥育しても増加は期待できませんが（図2左）、BMS No. は肥育期間が長くなるにつれて良くなりました（図2右）。ただし、9か月以上の肥育により肉質は大きく向上しないため、肥育期間は6～9か月が適切だと考えられます。



支肉重量およびBMSNo.の関係



写真左：未經産雌牛の枝肉  
濃厚飼料中穀類割合 60%、0.5kg/月  
増給で肥育

写真右：経産牛の枝肉  
12か月肥育

## 第1回評議員会開催

平成22年度の第1回評議員会が8月27日に札幌・ジェネティクス北海道会議室にて行われました。評議員および役員18名が出席し、平成21年度事業・会計報告と平成22年度事業計画などが検討されました。今年度の事業計画として、研究会大会（帯広）を環境リサイクル肉牛協議会シンポジウムと共同開催とすることや会報の発行などの計画が了承されました。

## 2010年 肉牛関連行事予定

ジェネティクス北海道黒毛和種枝肉共励会	10月 2日（土）	帯広市・畜産公社
北海道枝肉共励会（乳用雄肥育牛および交雑牛の部）	10月 16日（土）	帯広市・畜産公社
北海道肉牛研究大会	11月 10（水）－11日（木）	帯広市・ホテル東急イン
北海道アングス枝肉共励会	11月 10日（水）	帯広市・畜産公社
北海道あか牛枝肉共励会	11月 19日（金）	帯広市・畜産公社
北海道枝肉共励会（黒毛和牛の部）	12月 4日（土）	帯広市・畜産公社

のこと）。  
をお願いします。